

広報たてやま

6月

■昭和60年6月号(毎月15日発行) No. 411

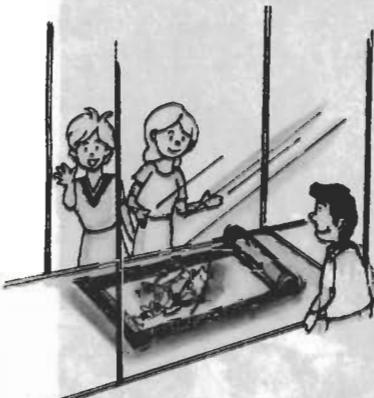
■發行/館山市役所市長公室 〒294 館山市北条1145-1 ■電話22-3111



八千人が奉仕の汗

町をきれいにしよう」と、
「ゴミゼロの日」の六月二日、午
前九時からいっせいに市内各所
で、空き缶を中心にクリーン作
戦を開催。各町内会や子供会、
老人会などから八千三百人が参
加。ボリ袋を手に、道路わきや
海岸に散乱する空き缶拾いに汗
を流しました。この日集められ
た成果はおよそ八㌧です。

(新宿区で)



は『見返り美人図』
が有名ですが、博
翫宣の作品として

房州に生まれ、江戸に出て名を成した菱川師宣は、江戸期の浮世絵師で、木版刷りの浮世絵を創作し、広く夫叢のものとしたことから、浮世絵の始祖とも、開祖ともも言われています。

- 3 -

物館所蔵の「鰯釣り恵比寿雀躍り之図」写真も、肉筆画で描かれています。

であるとほめたものです。元禄丙子(ひのえね)の年号により、師宣の没後二年めにあたる元禄九年のものであることがわかります。

心配ごと

*精薄 田村第三病院

大鯛の竿を持ち、扇子を右手に恵比寿さまが、足もとも軽やかに雀躍りを踊っている様子が描かれています。図の上部には、「あらめでたいを釣ったところがおもしろい竿のふしふし千世こめて」と、高幡休得のほめ歌があります。これは、大鯛が筋のところに下がっているのは、

により、身近かな施設で、より作品にふれでもらおうと、貸借りを行うことも大切な仕事をしています。

現在、この図は、
鋸南町の菱川師宣
記念館に貸し出し、
展示されています。
が、こればかりで
なく博物館では、

県童

消費生活

市民

毎日、午前9時
～午後5時

市役所市民相談室
市への要望・苦情
借地・借家・相続
土地・家屋など
相談会館

結 婚

毎月第1・第3日曜日
午前10時～午後4時
市民センター1階
社会福祉協議会

年金

第3回
乳児相談会

■ 6月1日の人口／総人口56,490(-15) 男27,236(+3) 女29,254(-18) 世帯数18,609(+16)

() 肉は前月比

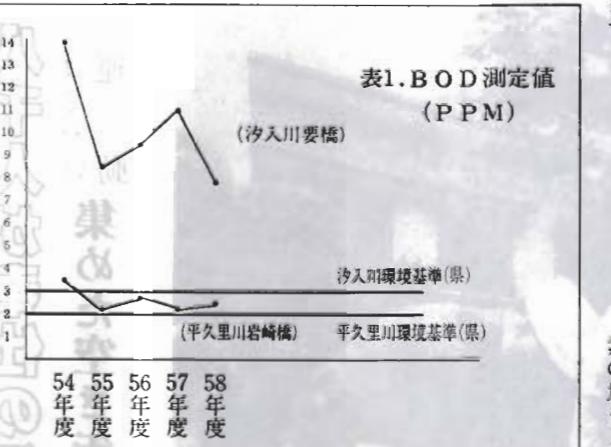
市民生活をとりまく環境浄化対策を強力に推進するため、環境生活課がスタートして二か月余り——。家庭雑排水の減量、浄化槽の適正な維持管理など環境浄化のための調査研究をすすめていますが、その担い手になるのは何といっても皆さん一人ひとりの心がけ次第です。「環境月間」を機会に、私たちに最も身近な水の問題、特にその汚れとこの防止について考え、一日も早くきれいになるよう協力しましょう。

とり戻そう! できる浄化対策は…



川や海は、もともと自分で汚れをきれいにする自浄能力がありますが、都市化が進み、生活が多様化された今、生活系排水が増え、自浄能力を超えた汚れが流れ込み、水質を悪化しています。

BODは、水がどの程度汚れているかを示す基準で、水中の有機物を酸化し、分解させて、きれいにするのに消費される酸素の量をPPMで示します。



市は、市内を流れる中小河川の汚れを調べ、浄化対策を進めます。また、五年前よりも少しずつきれいになっているようですが、まだ県の基準を上回っています。BODは、水がどの程度汚れていているかを示す基準で、水中の有機物を酸化し、分解させて、きれいにするのに消費される酸素の量をPPMで示します。

アユの住むような清流では、2PPMからせいぜい3PPM、フナやコイは汚れに強い魚ですが、それでも10PPMが限界です。市内を流れる河川にも、ヤマメやニジマスとまではいかないものの、アユが住むくらいにしかねば、海の汚染にもつながります。皆さんの家庭でできる浄化対策を考えてみましょう。

食品のもつ汚れ



くず。毎日の食卓に登場する食品をそのまま流すと、どれだけの汚れになるか示したのが左の図です。

PPM 百万分のいくつかを表わす単位で、水一升に一升の汚れが含まれているとき、一PPMといいます。



今後計画的に水質検査を実施



埋めて土にもどしましょう。

きれいな川を 家庭で



●調理くずや食べ残しは、回収して流さないようにしましょう。

●みそ汁やめんつゆなどは、残して捨てるのない量を作りましょう。

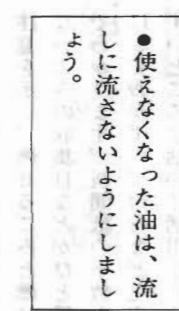
工場や事業所の排水もさることながら、実は家庭から流される雑排水が汚れの大きな原因となっています。

私たちが何気なく台所から流している調理くずや食べ残し、廢油などが川や海を汚している

家庭排水净化のポイント



●流しから流してしまった 固形分は沈でん槽を設け回収しましょう。
●家の前の側溝などは、ときどき清掃しましょう。



●使なくなつた油は、流しに流さないようにします。



●食器や鍋などのひどい汚れは、紙でふいてから洗いましょう。



●回収したものは、ごみとして出すか、埋めて土にもどしましょう。糸くずフィルターもつけましょう。

